

平成18年度連絡協力促進事業「環境教育 関東ミーティング」基本データ

国立赤城青少年交流の家

1期 日：平成19年2月10日(土)～平成19年2月12日(月)

2場 所：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家

3事業名：環境教育関東ミーティング

4趣 旨：関東周辺の、環境教育や自然体験活動のリーダー及びそれらに関心を有する人々が一堂に会して、学び・情報・具体的な行動計画などを共有化する機会を提供する。

5共 催：(社)日本環境教育フォーラム

6後 援：群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・長野県・富士見村の各教育委員会、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、千葉県、環境省、農林水産省関東農政局、国土交通省、関東地方整備局、林野庁関東森林管理局、(財)日本自然保護協会、(財)日本環境協会、(社)日本キャンプ協会、(社)ガールスカウト日本連盟、(財)ボーイスカウト日本連盟、(社)日本ネイチャーゲーム協会

7募集人員：100名

8参加者：一般参加者128名(他ボランティアスタッフ等48名、計176名)
内訳(地域別)群馬48名、群馬以外の関東59名、東北7名、中部11名他

9留意点：テーマ「『こころ』(感じる力・見きわめる力)と環境教育」に沿ったプログラム展開に配慮するとともに、地域でのネットワークづくりにも貢献する。

10広 報：近県教委、県内外の高校・大学等、各後援団体への広報依頼。県内外の青少年教育施設へのチラシ配布。新聞・雑誌に掲載。環境教育関連のメールマガジン、メーリングリスト、WEB等への広報。赤城青少年交流の家WEBページに掲載。

11プログラム内容

第1日 2月10日(土)

13:00 オープニング

13:30 「おやき」づくり 群馬県富士見村農産物加工組合

15:30 オープニングトーク 「体験活動が『こころ』の成長にもたらすもの」
非電化工房主宰：藤村靖之氏、くりこま高原自然学校長：佐々木豊志氏、
(財)日本自然保護協会常務理事：横山隆一氏

19:00 参加者自主企画プレゼンテーション(8名・団体)

第2日 2月11日(日)

7:00 早朝プログラム(野鳥観察、環境省レンジャーとのトーク)

9:00 分科会(「『こころ』の分科会」「楽しい“非電化”生活のススメ」等、8分科会)

12:00 群馬県環境学習者エコムープ号の展示

17:00 オプションプログラム「アウトドア製品の使い方」(コールマンジャパン(株))

19:00 交流会(トーク (財)日本野鳥の会：安西英明氏、前掲：横山氏)

第3日 2月12日(月)

9:00 フリータイム、分科会共有の時間、全体ふりかえり(前掲：藤村氏、佐々木氏)

12:00 クロージング

12所 見：熱意と意欲のある参加者が多く集まったことにより、活気のあるミーティングとなった。今後、分野を超えた連携や地域での新しいネットワークやアクションが期待され、環境教育の広がりや深まりにつながる可能性が感じられた。

13参 考：別紙(写真)